
角田市 企業アンケート調査 概要報告書

令和 5 年 1 月

①調査概要

(1) 目的

新しい角田市都市計画マスタープラン策定のための基礎的な調査の一環として、角田市内に勤務する方々の生活スタイルや角田市の現状・課題を把握するため、Web アンケート形式での調査を実施したものの。

(2) 調査対象

◇調査対象 市内立地企業 35 社の従業者

(3) 調査方法

◇Web アンケート

(4) 実施時期

◇令和 4 年 11 月 28 日 ～回収期限 12 月 31 日

(5) 回収結果

◇55 件

※集計分析にあたって

- ・ 割合は小数第 2 位を四捨五入して表示していることから、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問では、回答者数に対する回答数の割合を示しているため比率の合計が 100%を超える場合がある。

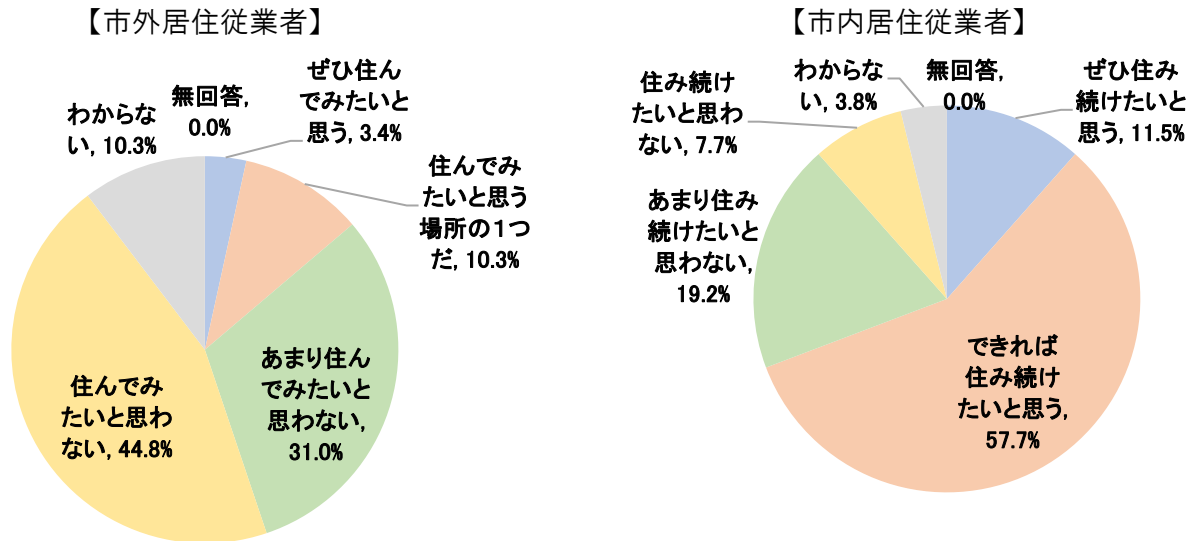
②回答者の属性

属性		回答数	回答率	
総数		55	100.0%	
性別	男性	40	72.7%	
	女性	14	25.5%	
	回答しない	1	1.8%	
	無回答	0	0.0%	
	年齢	10歳代	0	0.0%
	20歳代	6	10.9%	
	30歳代	8	14.5%	
	40歳代	18	32.7%	
	50歳代	16	29.1%	
	60歳代	7	12.7%	
	70歳以上	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	
居住地	角田市	26	47.3%	
	丸森町	4	7.3%	
	柴田郡(柴田・大河原方面)	9	16.4%	
	刈田郡(白石市方面)	2	3.6%	
	亶理郡(亶理方面)	2	3.6%	
	仙台市	3	5.5%	
	岩沼市・名取市	9	16.4%	
	その他宮城県内	0	0.0%	
	宮城県外	0	0.0%	
	無回答	0	0.0%	
	家族構成	単身	8	14.5%
		夫婦のみ	11	20.0%
親と子(二世帯)		22	40.0%	
親と子と孫(三世帯)		10	18.2%	
その他		4	7.3%	
無回答		0	0.0%	

属性		回答数	回答率
通勤年数	1年未満	3	5.5%
	1年以上5年未満	12	21.8%
	5年以上10年未満	11	20.0%
	10年以上20年未満	10	18.2%
	20年以上30年未満	7	12.7%
	30年以上	11	20.0%
	無回答	1	1.8%
通勤時間	30分未満	40	72.7%
	30分以上1時間未満	12	21.8%
	1時間以上	3	5.5%
	無回答	0	0.0%
主な通勤手段	自家用車	52	94.5%
	電車	1	1.8%
	バイク・スクーター	1	1.8%
	自転車	0	0.0%
	徒歩	1	1.8%
	その他	0	0.0%
	無回答	0	0.0%

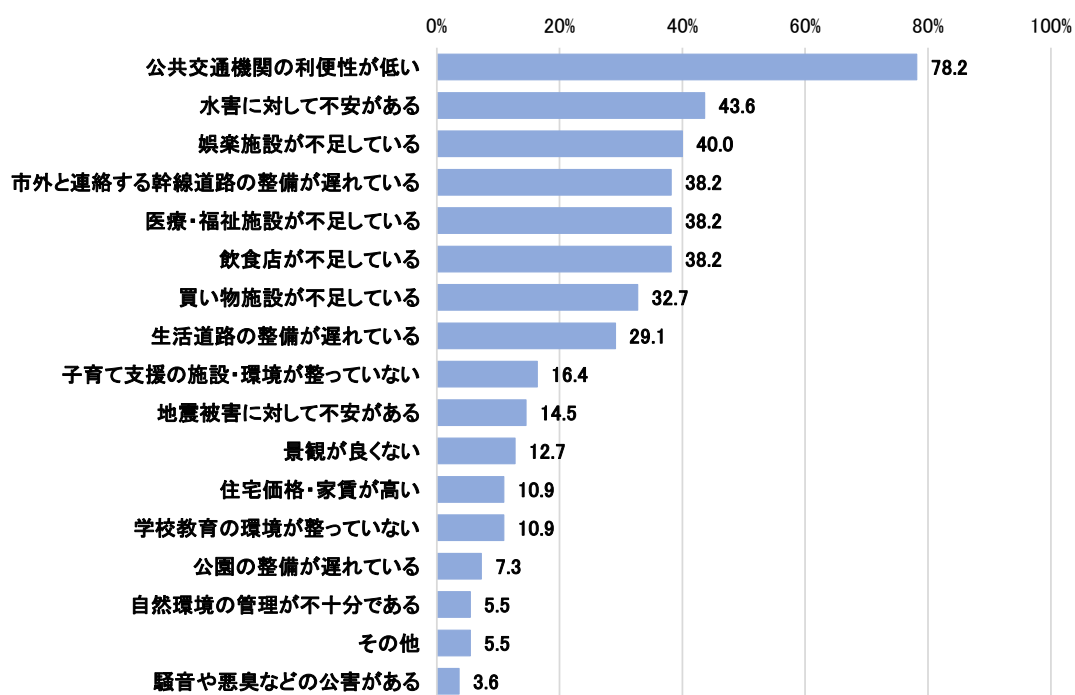
③回答結果

問8 角田市に住んでみたいと思いますか。(○はひとつ)



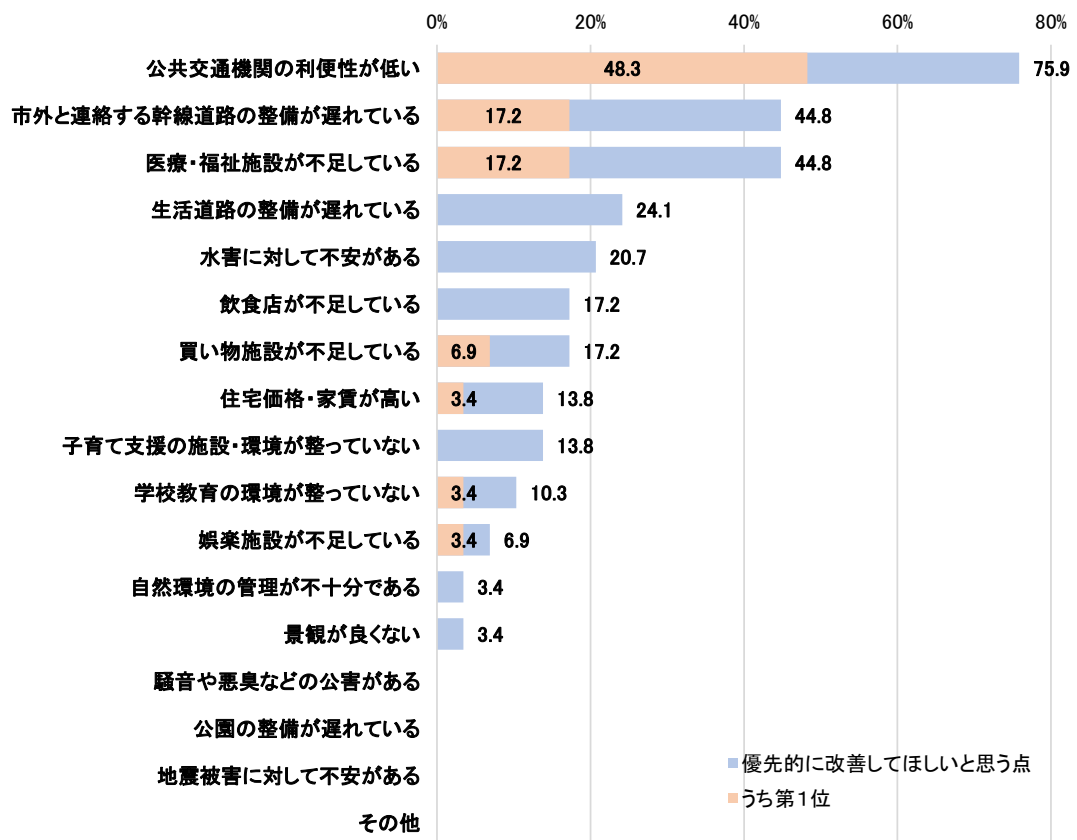
- ・市外居住者では「住んでみたいと思わない」44.8%、「あまり住んでみたいと思わない」31.0%の順に回答率が高く、「住んでみたいと思わない」と「あまり住んでみたいと思わない」を合わせた回答率75.8%は、「ぜひ住んでみたいと思う」と「住んでみたいと思う場所の1つだ」を合わせた回答率13.7%を大きく上回っています。
- ・市内居住者では「できれば住み続けたいと思う」57.7%、「あまり住み続けたいと思わない」19.2%、「ぜひ住み続けたいと思う」11.5%の順に回答率が高く、「ぜひ住み続けたいと思う」と「できれば住み続けたいと思う」を合わせた回答率69.2%は、「あまり住み続けたいと思わない」と「住み続けたいと思わない」を合わせた回答率26.9%を大きく上回っています。

問9 角田市への移住を想定した際に(角田市に居住していて)、市に不足していると感じる点や不安を感じる点を教えてください。(複数回答)



- ・「公共交通機関の利便性が低い」78.2%の回答率が他に比べてとても高く最上位となっています。次に、「水害に対して不安がある」43.6%、「娯楽施設が不足している」40.0%の順に回答率が高くなっています。
- ・市外居住従業者、市内居住従業者ともに、「公共交通機関の利便性が低い」の回答率が他に比べてとても高く最上位となっています。

問10[問8で3, 4を回答した場合]優先的に改善してほしいと思う点を教えてください(上位3つまで選択)。



- ・「公共交通機関の利便性が低い」75.9%の回答率が他に比べてとても高く最上位となっています。次に、同割合で「市外と連絡する幹線道路の整備が遅れている」44.8%と「医療・福祉施設が不足している」44.8%の回答率が高くなっています。
- ・第1位になったものの上位3項目も、上記と同様になっています。
- ・市外居住従業者では「公共交通機関の利便性が低い」、市内居住従業者では「医療・福祉施設が不足している」の回答率が最も高くなっています。